

黒井沢ルートの植物

黒井沢から野熊の池まで 2005/5/29

上杉 毅

最初にお断りしておかなければならないのは、私は決して植物の専門家ではないことだ。この10年間に限っては山歩きのたびに数冊の図鑑を担ぎ、植物に限っては一種も見落とすまいと努力したつもりだが、まだ初歩的なミスをしているだろう。まして黒井沢からのルートは初めて辿る道でもあり、一回だけの観察でどこまで正確が期せるか分からないが、出来る限りのことはやっておき、叱正を待ちたい。

黒井沢から野熊の池までのルートは前半が溪畔林、後半が沢沿いをたどるもので、出発地点の標高が約1200メートル、野熊の池が約1700メートルだから、標高差は500メートル強である。この間、ブナ帯から亜高山帯下部までの植生変化が見られる。もともとブナ帯といってもやや内陸に位置するためか、ブナは少なく、愛知県豊田市稲武町面の木峠のようなブナとミズナラの極相林とは様子が異なる。それでもイタヤカエデ、オヒョウ、ウダイカンバ、サワグルミなどの大木が林立する沢沿いの森は白山や上高地の沢を連想させるほど素晴らしい。針葉樹ではウラジロモミがよく育っていて、登山道が沢筋を離れるころにはコメツガが多く、さらに野熊の池に近づくとトウヒが現れる。野熊の池からさきは、オオカメノキが咲き始めたばかりで観察の適期ではなかったようだ。

110種あまりの植物を観察し、うち36種で開花が見られたが、十分に時間をとって丹念に観察すればまだこのほかに数十種の観察が可能だろう。以下のリストは順不同だが、出発地点から野熊の池までの出現順とご理解いただきたい。

花が見られたもの ミヤマザクラ、ワチガイソウ、ミツバツチグリ、ミヤマキケマン、ニョイスミレ、サワギキョウ、イヌコリヤナギ、カキドオシ、ヒロハコンロンソウ、ウワバミソウ、サルナシ、ニワトコ、ハウチワカエデ、サワグルミ、タチカメバソウ、ツルネコノメソウ、コガネネコノメソウ、ヤブニンジン、ツクバネソウ、ウスバサイシン、ミヤマエンレイソウ、ニッコウネコノメ、タチツボスミレ、ルイヨウショウマ、ズダヤクシュ、マムシグサの仲間、ギンリョウソウ、コガネネコノメソウ、チドリノキ、ワチガイソウ、オオカメノキ、コミヤマカタバミ、サンカヨウ、タチネコノメソウ(やや疑問)、セントウソウ、オオカメノキ
葉だけのもの トチノキ、ナガバモミジイチゴ、クルマムグラ、イタヤカエデ、ヒナウチワカエデ、シナノザサ、クサイチゴ、イヌブナ、オノエヤナギ、ハスノハイチゴ、イヌガンソク、ホソエカエデ、クマイチゴ、アオダモ、コハクウンボク、オクノカンスゲ、ウダイカンバ、ダケカンバ、サワギク、サワダツ、ミヤマカラ

マツ、サワグルミ、コミネカエデ、クマシデ、アサノハカエデ、カツラ、コハウチワカエデ、フキ、バイカウツギ、ツルアジサイ、オオミヤマガマズミ、シシガシラ、シナノキ、ミズナラ、ヤマツツジ、ブナ、クロモジ、サワラ、コアジサイ、イタドリ、オシダ、バイカツツジ、スズタケ、マツブサ、ミヤママタタビ、ミズキ、フクオウソウ、チダケサシ、ヤマハンノキ、オクモミジハグマ、ハンショウヅル、ホウチャクソウ、トチバニンジン、

オクヤマコウモリ、ウスゲタマブキ、ヤマハタザオ、オオイタヤメイゲツ、アカフタチツボスミレ、オヒョウ、ユキザサ、フジシダ、ウラジロモミ、クロクモソウ、シラネワラビ、コメツガ、エゾノヨツバムグラ、カワチブシ、バイケイソウ、メタカラコウ、サラシナショウマ、コメツガ、ウラジロモミ、トウヒ、マンネンシギ、フクオウソウ、ナナカマド、マルバダケブキ

(愛知県瀬戸市)